殺虫・殺ダニ剤

日曹コテツ®フロアブル

登録番号	第 19186 号
性　　状	類白色水和性粘稠懸濁液体
有効期限	5年
毒　　性	医薬用外劇物
包　　装	（100mℓ×10 本）×6箱、250mℓ×20 本、500mℓ×20 本

日曹の農薬

有効成分　クロルフェナピル　10.0%

種 類 名　クロルフェナピル水和剤　　殺虫剤分類　13

■特　長

1. 殺虫スペクトルが広く、多くの作物に適用できます。
2. 難防除害虫であるコナガ・ヨトウムシ類・ミナミキイロアザミウマ・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類などに高い効果を示します。
3. ユニークな構造（ピロール系）を有し、既存の殺虫剤に感受性が低下した害虫にも有効です。

製品ページはこちら

■適用害虫名及び使用方法　　（2026 年 11 月 4 日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）又は使用量	使用液量（L/10a）	使用時期	本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	ヨモギエダシャク	2,000～4,000	200～700	収穫前日まで	2回以内	散布
	ハスモンヨトウ					
	リュウキュウミカンサビダニ					
	カネタタキ					
	スグリゾウムシ					
	アザミウマ類（ネギアザミウマを除く）	2,000～6,000				
	チャノホコリダニ					
	ミカンサビダニ					
みかん（温室、ガラス室等密閉できる場所）	ミカンキイロアザミウマ	300mL/10a	10			常温煙霧
なし	ナミハダニ	2,000～3,000	200～700		3回以内	散布
	カンザワハダニ					
	ニセナシサビダニ					
	ヨモギエダシャク	2,000				
	チャノキイロアザミウマ					
りんご	キンモンホソガ			収穫3日前まで	2回以内	
	ナミハダニ					
	ハマキムシ類					
	ミノガ類					
	ヨモギエダシャク	2,000～4,000				
	リンゴサビダニ					
小粒核果類	オウトウハダニ	2,000		収穫前日まで		
	ウメシロカイガラムシ					
	イラガ類					

作物名	適用害虫名	希釈倍数 （倍） 又は使用量	使用液量 （L/10a）	使用時期	本剤及び クロルフェナピル を含む農薬の 総使用回数	使用方法
もも	ミカンキイロアザミウマ	2,000～ 4,000	200～700	収穫前日まで	2回以内	散布
	モモハモグリガ	2,000				
	カンザワハダニ					
	ナミハダニ					
	モモサビダニ					
	ウメシロカイガラムシ					
ネクタリン	モモハモグリガ			収穫7日前まで		
	カンザワハダニ					
	ナミハダニ					
	モモサビダニ					
	ウメシロカイガラムシ					
	ミカンキイロアザミウマ	2,000～ 4,000				
おうとう	ナミハダニ	2,000				
	カンザワハダニ					
	チャノキイロアザミウマ					
	オウトウショウジョウバエ					
	ウメシロカイガラムシ					
ぶどう （温室、ガラス室等 密閉できる場所）	チャノキイロアザミウマ	150mL/10a	6	収穫14日前まで		常温煙霧
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	2,000～ 4,000	200～700	収穫60日前まで		散布
	フタテンヒメヨコバイ					
	ミカンキイロアザミウマ					
	ブドウサビダニ					
	ハマキムシ類					
	ナミハダニ	2,000				
	カンザワハダニ					
	ハスモンヨトウ					
	トビイロトラガ					
	モンキクロノメイガ					
	ミノガ類					
	コガネムシ類					
	ブドウハモグリダニ					
ブルーベリー	イラガ類				3回以内	
	オウトウショウジョウバエ					
いちじく	ヒラズハナアザミウマ			収穫前日まで	2回以内	
	カンザワハダニ					
	ショウジョウバエ類					

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）又は使用量	使用液量（L/10a）	使用時期	本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
かき	ナミハダニ	2,000	200～700	収穫14日前まで	2回以内	散布
	カンザワハダニ					
	カキノヘタムシガ	2,000～4,000				
	イラガ類					
	アザミウマ類					
	カキサビダニ					
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ	2,000		収穫前日まで		
	コガネムシ類					
ゴレンシ	カンザワハダニ			収穫14日前まで		
さんしょう（果実）	チャノキイロアザミウマ	4,000		収穫7日前まで		
マンゴー		2,000		収穫14日前まで		
かんしょ	ハスモンヨトウ		100～300	収穫前日まで		
	ハダニ類					
	ヨツモンカメノコハムシ	2,000～4,000				
	シロイチモジヨトウ					
	ハスモンヨトウ	16	1.6			無人航空機による散布
	シロイチモジヨトウ					
さといも	カンザワハダニ	2,000	100～300	収穫7日前まで		散布
	ハスモンヨトウ					
さといも（葉柄）	カンザワハダニ			収穫3日前まで		
	ハスモンヨトウ					
やまのいも	カンザワハダニ			収穫前日まで		
	ナガイモコガ					
やまのいも（むかご）	カンザワハダニ			収穫3日前まで		
	ナガイモコガ					
かぶ	コナガ			収穫前日まで		
	ナモグリバエ					
	ヨトウムシ					
しょうが	ハスモンヨトウ					
		32	3.2			無人航空機による散布
だいこん	アオムシ	2,000	100～300	収穫21日前まで	1回	散布
	コナガ					
	ダイコンサルハムシ					
てんさい	ヨトウムシ			収穫7日前まで	2回以内	
	ハダニ類					
	カメノコハムシ					
にんじん	ヨトウムシ			収穫前日まで		
	キアゲハ					
	ヒョウタンゾウムシ類					

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）又は使用量	使用液量（L/10a）	使用時期	本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
葉にんにく	ハダニ類	2,000	100～300	収穫14日前まで	1回	散布
ねぎ	シロイチモジヨトウ			収穫7日前まで	2回以内	
	ヒョウタンゾウムシ類					
	ネギハモグリバエ					
	ネギコガ					
あずき	ハダニ類			収穫3日前まで		
	ノメイガ類					
豆類（未成熟、ただし、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげんを除く）	ハダニ類			収穫前日まで		
えだまめ						
	コフキゾウムシ					
さやいんげん	ハダニ類					
	アズキノメイガ					
実えんどう さやえんどう	ハダニ類					
	ハスモンヨトウ					
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ				3回以内	
	ミナミキイロアザミウマ					
	ハダニ類					
	ウリノメイガ					
	ウリハムシ					
にがうり かぼちゃ（日本かぼちゃ）	ミナミキイロアザミウマ				2回以内	
すいか		4,000				
	ハダニ類	2,000				
	オオタバコガ					
	ウリノメイガ					
うり類（漬物用）	ミナミキイロアザミウマ					
	ハダニ類					
トマト ミニトマト	オオタバコガ				3回以内	
	ミカンキイロアザミウマ					
	ナミハダニ					
	トマトサビダニ					
	トマトキバガ					
なす	ミカンキイロアザミウマ				4回以内	
	ミナミキイロアザミウマ					
	チャノホコリダニ					
	ハダニ類					
	オオタバコガ					
	ハスモンヨトウ					
	ヨトウムシ					
	テントウムシダマシ類					

作物名	適用害虫名	希釈倍数 （倍） 又は使用量	使用液量 （L/10a）	使用時期	本剤及び クロルフェナピル を含む農薬の 総使用回数	使用方法
ピーマン とうがらし類 （ししとうを除く）	ミカンキイロアザミウマ	2,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	散布
	ミナミキイロアザミウマ					
	オオタバコガ					
	ハダニ類					
ししとう	ミカンキイロアザミウマ					
	ミナミキイロアザミウマ					
	オオタバコガ					
	ハダニ類					
	ヒラズハナアザミウマ	4,000				
カリフラワー	コナガ	2,000		収穫3日前まで		
茎ブロッコリー	アオムシ			収穫前日まで		
ブロッコリー	コナガ			収穫3日前まで		
	アオムシ					
	ヨトウムシ					
	ハスモンヨトウ					
	シロイチモジヨトウ					
しゅんぎく ザーサイ	ハスモンヨトウ			収穫14日前まで	1回	
非結球あぶらな科 葉菜類(こまつな、 チンゲンサイ、なばな類、 非結球はくさい、 非結球メキャベツ を除く)	コナガ					
こまつな	アオムシ			収穫3日前まで		
	コナガ					
	ハクサイダニ					
チンゲンサイ	コナガ			収穫7日前まで		
なばな類	ハスモンヨトウ				2回以内	
非結球はくさい	アオムシ			収穫14日前まで		
	コナガ					
非結球メキャベツ	ハスモンヨトウ				1回	
キャベツ	コナガ			収穫前日まで	2回以内	
	アオムシ					
	タマナギンウワバ					
	ハスモンヨトウ					
	ヨトウムシ					
	シロイチモジヨトウ					
	オオタバコガ					
	ハイマダラノメイガ					
はくさい	コナガ					
	アオムシ					
	ヨトウムシ					
	カブラハバチ					

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）又は使用量	使用液量（L/10a）	使用時期	本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
メキャベツ	ハスモンヨトウ	2,000	100～300	収穫7日前まで	2回以内	散布
あしたば	ウドノメイガ					
やなぎたで コリアンダー(葉)	ハスモンヨトウ					
セルリー	ヨトウムシ			収穫14日前まで		
はまぼうふう(葉)	ハダニ類			親株養成期 但し、収穫90日前まで	3回以内	
みつば	ハスモンヨトウ			収穫14日前まで 但し、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	1回	
レタス	ハスモンヨトウ					
	オオタバコガ			収穫前日まで	2回以内	
	ナモグリバエ					
	ヨトウムシ					
きく(葉)	ミカンキイロアザミウマ			収穫7日前まで		
	ミナミキイロアザミウマ					
	ヨトウムシ類					
	ハダニ類					
	オオタバコガ					
	アワダチソウグンバイ					
すいぜんじな	ハダニ類			収穫前日まで		
	ヨトウムシ					
葉ごぼう	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで	3回以内	
よもぎ	ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで	1回	
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	4,000～6,000		2葉期まで 但し、収穫14日前まで		
エンサイ	ハスモンヨトウ	2,000		収穫3日前まで	2回以内	
つるむらさき				収穫7日前まで	1回	
モロヘイヤ	アザミウマ類					
はすいも(葉柄)	カンザワハダニ			収穫前日まで	2回以内	
	ハスモンヨトウ					
つわぶき とうき	ハダニ類			収穫14日前まで	2回以内	
ふき	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで		
	ハダニ類					
ふき(ふきのとう)	ハスモンヨトウ			収穫90日前まで		
	ハダニ類					
アスパラガス	オオタバコガ		100～500	収穫前日まで		
	ハスモンヨトウ					
	ジュウシホシクビナガハムシ					
	ヨトウムシ					
うど	シクラメンホコリダニ		100～300	根株養成期 但し、収穫75日前まで		

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）又は使用量	使用液量（L/10a）	使用時期	本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ	2,000	100～300	収穫3日前まで	2回以内	散布
	ミナミキイロアザミウマ					
	ヨトウムシ類					
	ハダニ類					
	オオタバコガ					
	アワダチソウグンバイ					
食用金魚草 食用なでしこ 食用エキザカム 食用せんにちこう 食用トレニア 食用パンジー	ミカンキイロアザミウマ			収穫14日前まで		
	ヨトウムシ類					
	ハダニ類					
食用プリムラ	ハスモンヨトウ					
	ヨトウムシ類					
	ハダニ類					
	ミカンキイロアザミウマ					
食用ミニバラ	ヨトウムシ類			収穫3日前まで		
	ハダニ類					
いちご	ハスモンヨトウ			収穫前日まで		
	シクラメンホコリダニ					
	ミカンキイロアザミウマ					
オクラ	ハスモンヨトウ					
	オオタバコガ					
たらのき	ハダニ類			収穫90日前まで		
なんてん(葉)	アザミウマ類			収穫14日前まで		
みょうが(茎葉)	ハダニ類			※2		
みょうが(花穂)				収穫前日まで		※1
とうもろこし ヤングコーン 飼料用とうもろこし （子実）	ハダニ類			収穫前日まで		散布
	オオタバコガ					
	ツマジロクサヨトウ					
茶	チャノミドリヒメヨコバイ		200～400	摘採7日前まで		
	チャノキイロアザミウマ					
	カンザワハダニ					
	チャノナガサビダニ					
	チャノホコリダニ					
	シャクトリムシ類					
	チャノコカクモンハマキ					
	マダラカサハラハムシ					
	チャトゲコナジラミ					

※1 みょうが（花穂）の使用方法／散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。

※2 みょうが（茎葉）の使用時期／みょうが（花穂）の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）又は使用量	使用液量（L/10a）	使用時期	本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	使用方法
せんきゅう	ハダニ類	2,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	散布
みしまさいこ	ハスモンヨトウ			収穫21日前まで		
花き類・観葉植物（きく、ストックを除く）	ヨトウムシ類		150～300	発生初期		
	ハダニ類					
	ミカンキイロアザミウマ					
きく	ミナミキイロアザミウマ					
	ヨトウムシ類					
	ハダニ類					
	オオタバコガ					
	アワダチソウグンバイ					
ストック	コナガ					
	アオムシ					
	ヨトウムシ類					
	ハダニ類					
	ミカンキイロアザミウマ					
アザレア	チャノホコリダニ		100～300			
しきみ	クスアナアキゾウムシ		200～700			
		60	6～21			無人航空機による散布

⚠ 効果・薬害などの注意

1. 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
2. ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意してください。
   （1）専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
   （2）できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6 時間以上密閉状態としてください。
3. ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調製した後にボルドー液と混合してください。
4. ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないように、ていねいに散布してください。
5. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
6. 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布してください。
7. きゅうり、なす、はくさい、だいこん、非結球あぶらな科葉菜類、なばな及びセルリーの幼苗期に使用すると薬害を生じることがあるので注意してください。
8. みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後 14 日間は入水しないでください。
9. ピーマン、とうがらし類に使用する場合、品種により葉に褐点などの薬害を生じることがあるので予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。
10. かき（刀根早生など）の着色期の散布は、薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
11. すいかに使用する場合、葉に薬害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
12. にがうりの幼苗期には薬害を生じるので、定植前には使用しないでください。
    定植後のにがうりに使用する場合、葉に灰褐色などの斑点の薬害を生じることがありますので、予備散布により薬害の出ないことを確認してから散布してください。

13. 西洋かぼちゃ（黒皮栗、青皮栗、えびす、雪化粧、みやこ、黒皮甘栗、栗味、栗マロン、芳香等）には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
14. ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。
15. ばら、食用ミニバラに本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
16. カーネーションへの散布は、薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
17. シクラメンに使用する場合、新葉に薬害を生じる場合があるので、薬害の出ないことを事前確認してから散布してください。
18. カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後 14 日間は入水しないでください。
19. 周辺の作物にかかると薬害を生じる場合があるので、かからないよう十分に注意して散布してください。
20. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
21. ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
    (1) ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
    (2) 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
    (3) 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
22. マルハナバチに影響があるので注意してください。
23. 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
    (1) 散布機種の散布基準に従って実施してください。
    (2) 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
    (3) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
    (4) 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
    (5) 散布終了後は以下の注意事項を守ってください。
    ・使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
    ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
    ・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
24. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
25. 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意



26. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
27. 散布等の作業の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
28. 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。
29. 街路、公園などで使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

● 水産動植物への影響

水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 保管上の注意

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は警察届け出てください。

○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空容器はほ場などに放置せず、3 回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

●コテツフロアブルの上手な使い方

① 希釈の際は、原液に粘性があるので、十分撹拌してから使用してください。あらかじめ、少量の水に溶かしてからタンクに入れると分散しやすくなります。
② 繁殖が早く、密度が高くなりやすい、ハダニ類、アザミウマ類を防除する時は、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
③ 周辺の作物（特にメロン・しそ等）にかかると薬害を生じる場合があるので、薬液がかからないよう十分に注意して散布してください。

キャベツ、はくさい、だいこんの場合

④ コナガ対象に使用する場合には、基幹防除剤として発生初期に使用してください。
⑤ コナガは、薬剤抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で 1 作期 1 回の使用としてください。
⑥ 浸透移行性がないので、結球前に使用し、かけむらのないよう十分量を散布してください。
⑦ はくさい、だいこんの幼苗期には薬害のおそれがあるので、定植活着後、8 葉期以降に使用してください。

なす、きゅうりの場合

⑧ ハダニ類・アザミウマ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので作用性の異なる他の薬剤と輪番で 1 作期 1 回の使用としてください。
⑨ なす、きゅうりの幼苗期（1 ～ 3 葉期）には薬害を生じる場合があるので、使用しないでください。

すいかの場合

⑩ すいかに使用する場合、機能性展着剤の加用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。

果樹の場合

⑪ リンゴハダニ・ミカンハダニ・クワオオハダニなど、パノニカス属のハダニには効果がありません。
⑫ マメコバチに影響があるので、受粉にマメコバチを利用する場合には開花期での使用はさけてください。
⑬ ぶどうの結実期に使用する場合は、果実が小豆大になるまでに散布してください。（果粉溶脱）

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。
●小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
